

医療法人啓仁会

介護老人保健施設 所沢ロイヤルの丘 (埼玉県所沢市)

ケアワーカー 下村 昌弘

5F行事

5Fの行事としてクレープ作り、運動会を開催しました。

クレープ作りでは職員と一緒にできるもの、生地作りやフルーツのカット、生地の焼き上げ、盛り付けといったほとんどの工程をお願いいたしました。最初は「できないわよ」などと言つ声が多数でしたが、やり始めてみると「私にもやらせて」「カットする物や焼く生地はもうないの？」などと大盛り上がりとな



美味しいの出来るといいな...



料理は得意

ちなみにこのカツラ、司会・進行を務めさせていただいた私や紅組サポート職員、白組サポート職員といった職員もかぶっていました。今後も、ご利用者様に楽しんで頂ける行事を企画していきたいと考えております。

医療法人啓仁会

介護老人保健施設 いとうの杜 (静岡県伊東市)

通所介護職員 田口 大介

通所 夏祭り

7月26日(金)、1階通所にて第2回の夏祭りを開催致しました。

お祭りの楽しいにおいを嗅ぎつけて...「ゲゲゲの鬼太郎」率いる妖怪達も人間に紛れて参加していました。

金魚すくい、ヨーヨー釣り、ねずみ男ただぎに射的など各コーナーで皆さん笑顔で楽しんでおられました。そんな姿を見て、我々スタッフもとても嬉しく思いました。

今年の出店は、ソフトクリーム、綿菓子、ポップコーンと去年よりグレードアップ!

おいしくおやつを食べながら、手相占いも大変好評でした。皆



さん、良い線でてましたよ!

厨房、送迎運転手、事務員等、多くのスタッフ総出で盛り上げ、本当に素晴らしいお祭となりました。また来年も「夏祭り」をお楽しみに!!

音・音楽の力を信じて

日本音楽療法学会認定音楽療法士 吉川 和子

医療法人啓仁会

介護保健施設 平成の森 (埼玉県川島町)

私たちは普段耳にする音・音楽によって心地良さを感じたり、或いは不快感を抱いたり、昔の記憶が蘇り思い出に浸ったり、また自然界の音である「風の音」「川のせせらぎ」は心癒されると言われます。この様に音・音楽は私達の心や体の動きに密接な関係があります。

私が音楽療法士になろうと思ったのは、7年前の2つの出来事がきっかけです。一つは、以前の職場の保育所で出会った

広汎性発達障害S君との交流でした。2歳過ぎても言葉の獲得、はいはい、立ち上がると言つ行動が無く、喃語しか発しない彼が出来る意思表示は泣く事だけでした。言葉掛けに対しても視線を合わせず、自分の名前も認識出来ません。しかしどんなに大泣きしていても、彼を抱きかかえ歌い掛けると泣き止み、笑顔になつて行くのです。こだわりの強い彼が、他者からの働きかけに対し興味を示し反応したので唯一音楽でした。

もう一つの体験は、老健平成の森の認知症棟で出会ったMさんと言つ女性です。認知が進み様々な記憶が消え去り徘徊し続けるその足を止め、いきいきと活動出来るのが毎日行われていたラジオ体操の時間でした。中でも彼女が歌を歌う時は、認知症である事を全く感じさせない程その姿は凛としていて歌の先生と皆から言われる程でした。半世紀以上も前に歌った歌ですが彼女の記憶の中にしっかりと刻み込まれ、正確に再現出来ている事に音楽のもつ不思議を実感しました。

これらの経験から、音楽の持つ力に付いて勉強し、S君やMさんの様な障害や認知症を含めた病気で心身を病んでいる方に、音楽を用いて関わる事により、症状の改善が出来たらと言つ思いが、私の音楽療法士への出発点でした。

現在私が介護福祉士として利用者様のケアを行っていること二階病棟にて、7月より音楽療法がスタートしました。セッションは1週間に一度失語症の方を中心に構成した小グループに対し、「運動性失語に対する発語と感情表出の促進」を目的とした音楽療法です。高齢者の音楽療法において中心となる理論は、1963年アメリカの精神科医R・バトラーが提唱した、心理的アプローチの一つ回想法ですが、他にも同質の原理、リズム知覚刺激による協応といった様々な技法を用いながらセッションを行っています。

介護職の仕事をしつつ、音楽療法を行う事は、思った以上に時間と体力を必要とします。また初めての試みである為、マンパワーやセッションを実施する為の環境の整備等問題は山積みです。しかし参加して下さった利用者様からは「とても楽しかった」「今度はいつあるの?」「心が安らいだ」と言つ感想を頂き、また今回の音楽療法の対象者ではない利用者様が、セッションの様子を遠くから見たいいつの間にか参加している方もいらつ

